骨髄コース所見用紙

症例No. _____ 提 出 者 _____

記入方法：該当する所見を○で囲んでください。囲み用○ ◯ [ ] には所見を記入してください。

標本観察所見

1. 標本の評価　良好　不良（理由：　）
2. 細胞密度　無形成　低形成　正形成　過形成
3. 脂肪滴　減少　正常　増加
4. 骨髄巨核球　著減　減少　正常　増加
5. M／E比　低　正　高
6. 各細胞系統について

1）顆粒球系

(1) 分布密度　減少　正常　増加
(2) 成熟分化　正常　異常
(3) 芽球細胞　正常　増加
(4) 形態異常　（ あり ・ なし ）　過分葉好中球（－ ＋）　脱顆粒（－ ＋）　デーレ小体（－ ＋）
ペルゲル核異常・低分葉好中球（－ ＋）　小型好中球（－ ＋）　巨大好中球（－ ＋）
軸状核好中球（－ ＋）　二核骨髄球（－ ＋）　中毒性顆粒（－ ＋）　空胞化（－ ＋）
(5) 異形成の合計　1+ 10%未満　2+ 10～50%未満　3+ 50%以上
ペルゲル核異常　1+ 10%未満　2+ 10～50%未満　3+ 50%以上
脱顆粒　1+ 10%未満　2+ 10～50%未満　3+ 50%以上
(6) その他・特記事項

2）赤芽球系

(1) 分布密度　減少　正常　増加
(2) 形態異常　（ あり ・ なし ）　巨赤芽球(様)変化（－ ＋）
多核赤芽球（－ ＋）　核辺縁不整（－ ＋）　核融解像（－ ＋）　核断片化（－ ＋）
核間架橋（－ ＋）　細胞質の狭小化（－ ＋）　空胞化（－ ＋）
(3) 異形成の合計　1+ 10%未満　2+ 10～50%未満　3+ 50%以上
(4) その他・特記事項

3）巨核球・血小板系

(1) 巨核球形態　（ あり ・ なし ）　微小巨核球（－ ＋）
小型巨核球（－ ＋）　単核巨核球（－ ＋）
分離多核巨核球（－ ＋）　幼若巨核球（－ ＋）
(2) 血小板産生像　減少　正常　増加
(3) 異形成の合計　1+ 10%未満　2+ 10～50%未満　3+ 50%以上
微小巨核球　1+ 10%未満　2+ 10～50%未満　3+ 50%以上
(4) その他・特記事項

4) リンパ球系・その他

（所見自由記載）

7. 異常細胞の出現あり

1）形態的特徴

(1) 細胞の大きさ　小　中　大　（正常小リンパ球を小、好中球を中とする）
(2) N/C比　＜60%　60～80%　＞80%
(3) 核の形状（不整、切れ込みなどの有無を記載する）
(4) クロマチンの性状　網状繊細　顆粒状　粗剛　塊状
(5) 核小体　不明瞭　明瞭　（明瞭の場合、特記すべき事あれば記載する）
(6) 細胞質　1)好塩基性　強い　弱い
2)顆粒（顆粒の大きさ、色調、大体の個数を記載）
3)細胞質辺縁　不整　不明瞭　偽足様突起
4)その他の構造
(7) その他（集簇性の有無など）

8. 細胞所見・考察